

住民意識アンケート調査結果報告

～男女共同参画社会の推進について～

播磨町では「住民参加のまちづくり」をより一層進めるため、皆さまからご意見やご提言をいただく町政モニター事業を行っています。

今回のアンケートでは、男女共同参画社会を推進するために、男女共同参画に関する住民の皆さまの意識調査を行い、今後のイベントや学習会の企画・資料作成等、男女共同参画推進に必要な施策を検討する基礎資料を得ることを目的として実施しました。

播磨町在住の20歳以上の方の中から無作為に抽出した1000人の方に送付し、324人の方からご回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

アンケート調査の結果の集計ができましたので、調査結果をお知らせします。

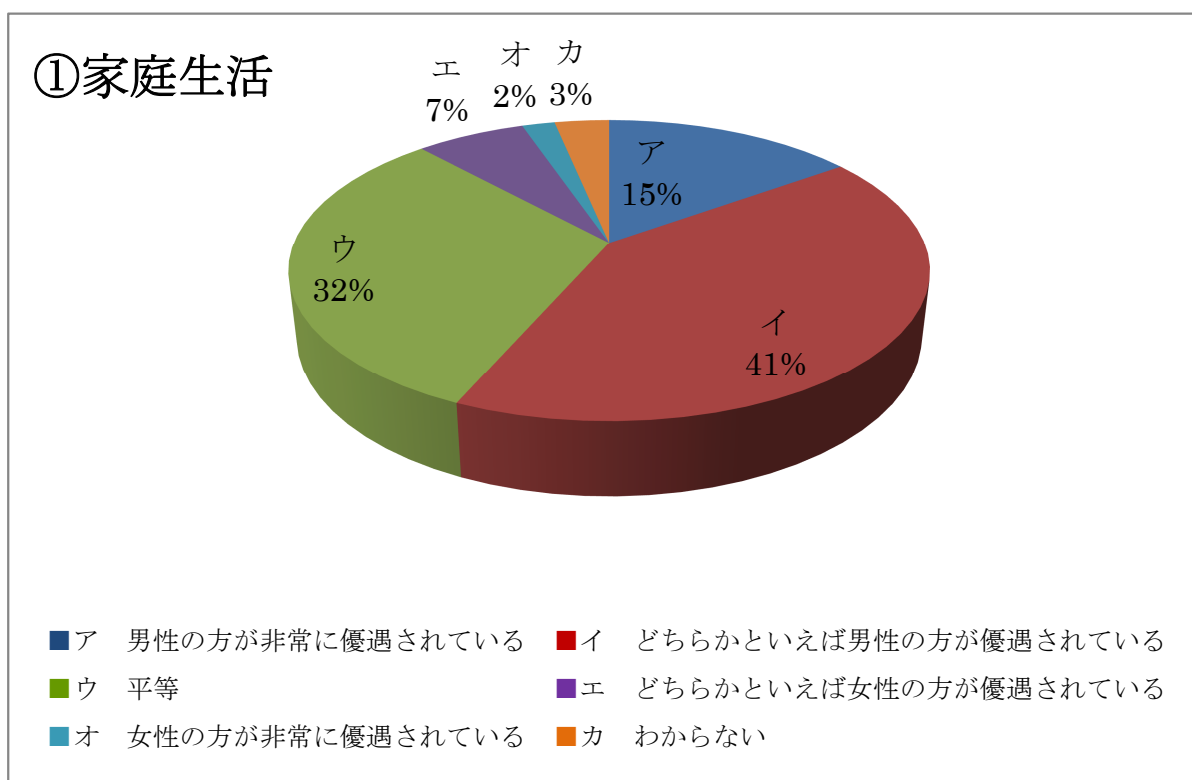
平成29年1月実施

播磨町 企画グループ 生涯学習グループ

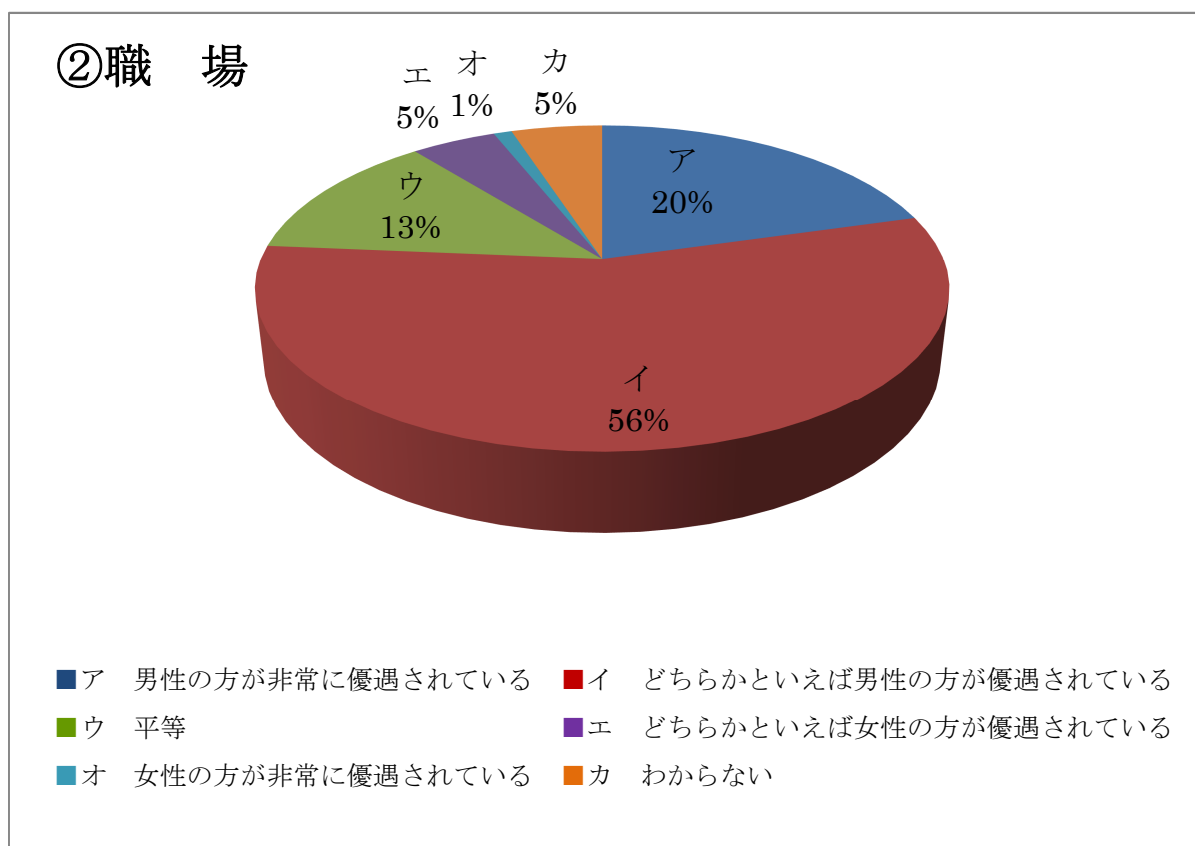
1. 男女共同参画社会に関する意識について

Q1 あなたは、今からあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。

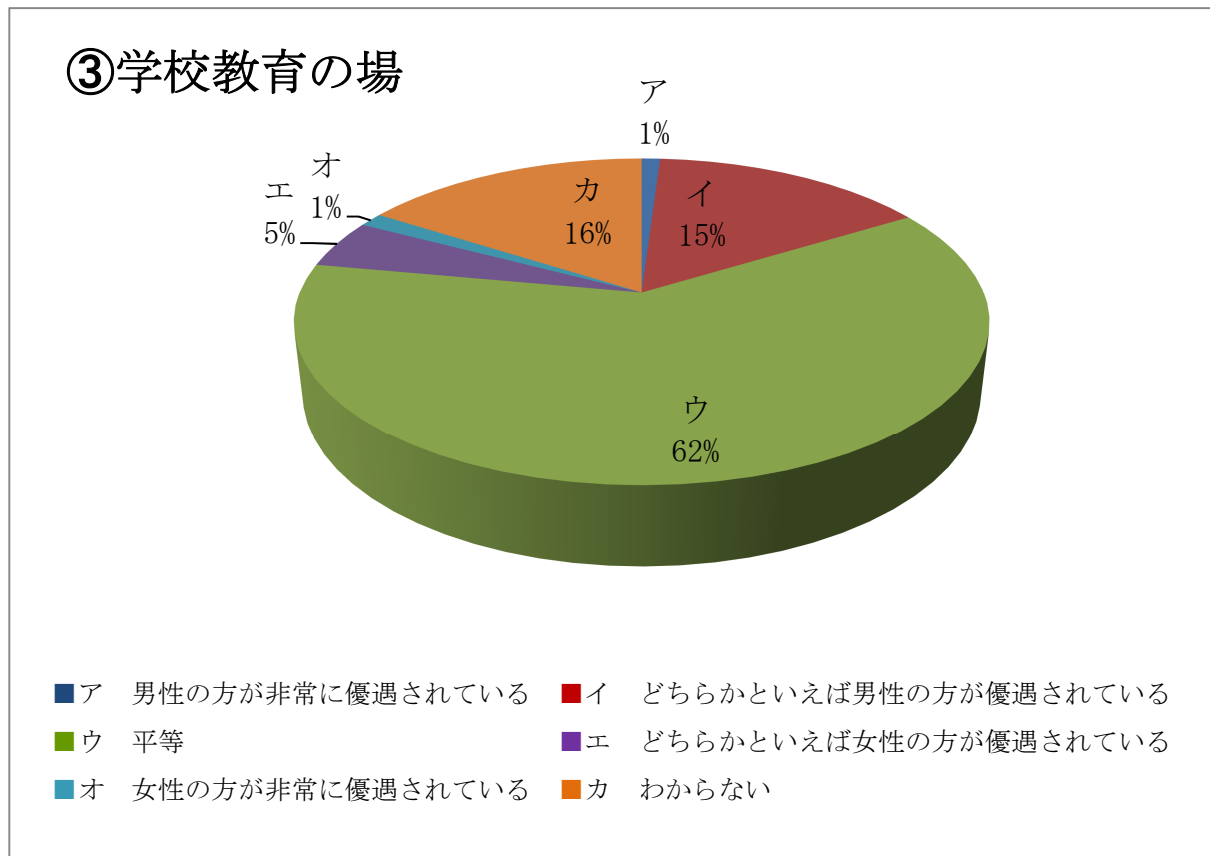
①家庭生活	人数	割合
ア 男性の方が非常に優遇されている	46人	15.1%
イ どちらかといえば男性の方が優遇されている	126人	41.4%
ウ 平等	96人	31.6%
エ どちらかといえば女性の方が優遇されている	20人	6.6%
オ 女性の方が非常に優遇されている	6人	2.0%
カ わからない	10人	3.3%



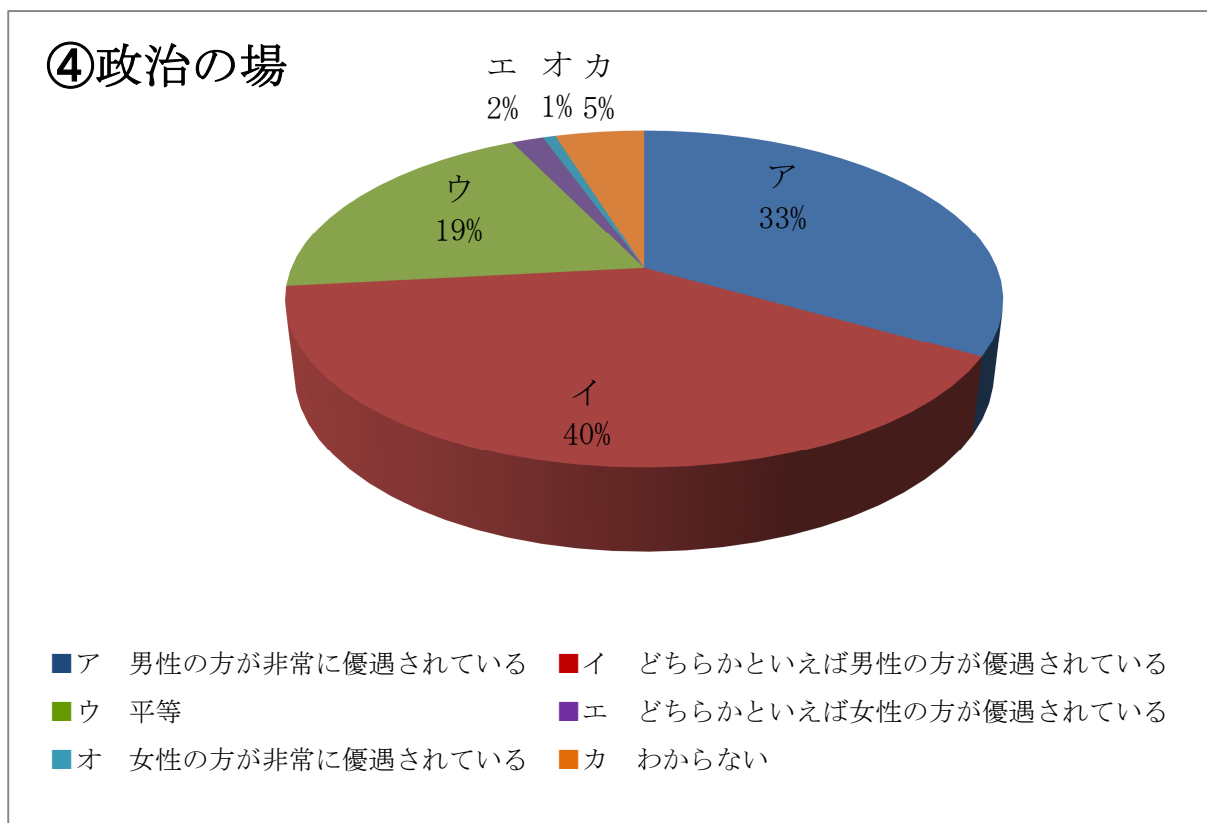
②職 場	人数	割合
ア 男性の方が非常に優遇されている	61	20.6%
イ どちらかといえば男性の方が優遇されている	165	55.7%
ウ 平等	38	12.8%
エ どちらかといえば女性の方が優遇されている	14	4.7%
オ 女性の方が非常に優遇されている	3	1.0%
カ わからない	15	5.1%



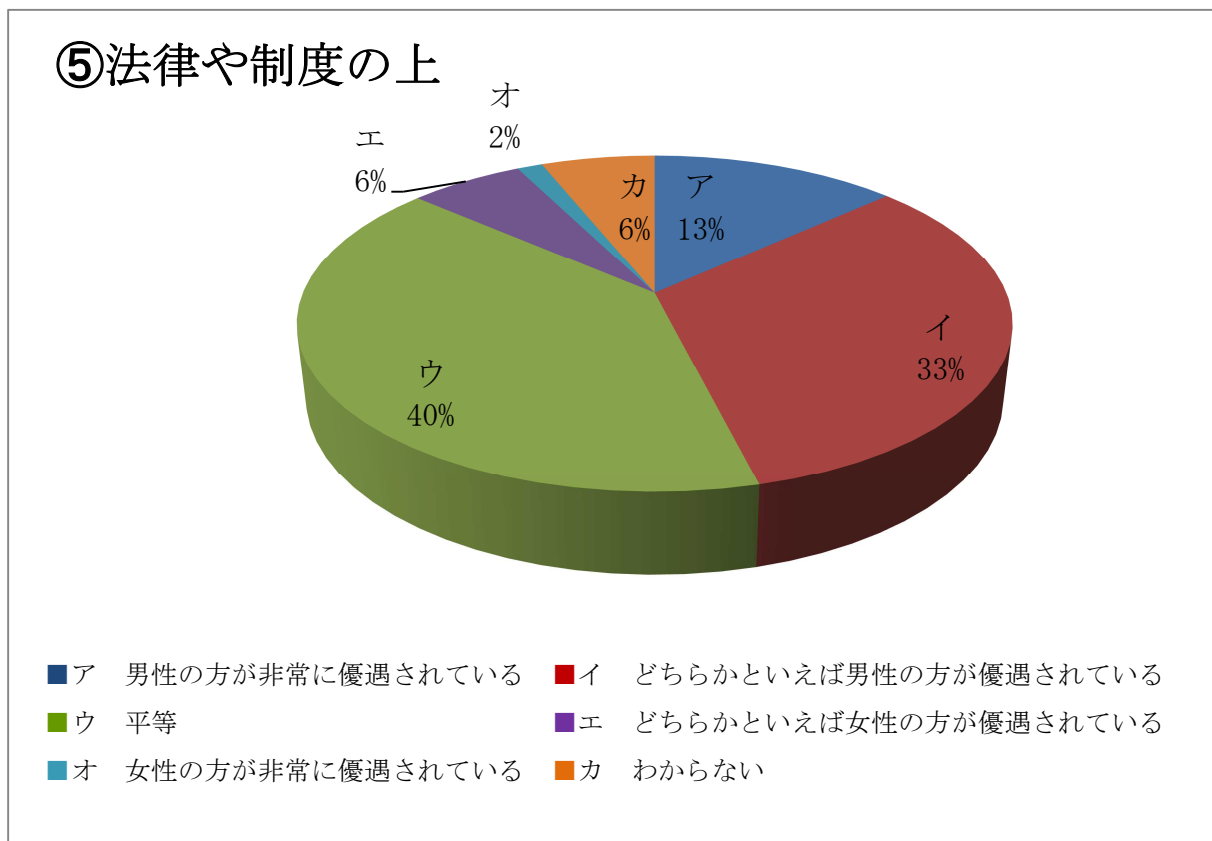
③学校教育の場	人数	割合
ア 男性の方が非常に優遇されている	3	1.0%
イ どちらかといえば男性の方が優遇されている	45	15.3%
ウ 平等	181	61.6%
エ どちらかといえば女性の方が優遇されている	14	4.8%
オ 女性の方が非常に優遇されている	4	1.4%
カ わからない	47	16.0%



④政治の場	人数	割合
ア 男性の方が非常に優遇されている	97	33.2%
イ どちらかといえば男性の方が優遇されている	117	40.1%
ウ 平等	57	19.5%
エ どちらかといえば女性の方が優遇されている	5	1.7%
オ 女性の方が非常に優遇されている	2	0.7%
カ わからない	14	4.8%

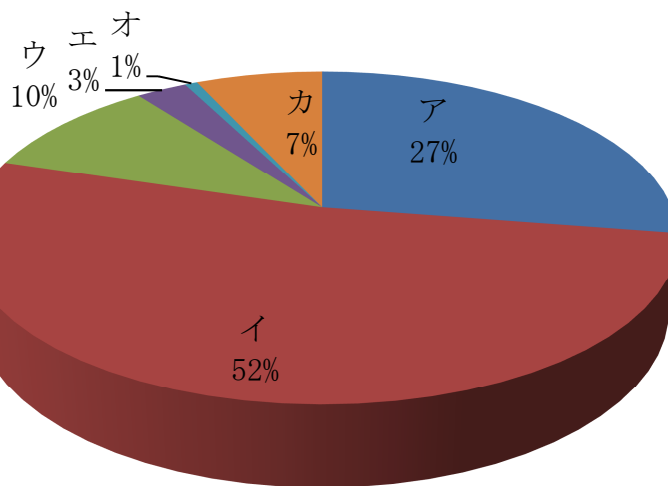


⑤法律や制度の上	人数	割合
ア 男性の方が非常に優遇されている	39	13.3%
イ どちらかといえば男性の方が優遇されている	96	32.8%
ウ 平等	118	40.3%
エ どちらかといえば女性の方が優遇されている	18	6.1%
オ 女性の方が非常に優遇されている	4	1.4%
カ わからない	18	6.1%



⑥社会通念・慣習・しきたりなど	人数	割合
ア 男性の方が非常に優遇されている	80	27.5%
イ どちらかといえば男性の方が優遇されている	152	52.2%
ウ 平等	29	10.0%
エ どちらかといえば女性の方が優遇されている	8	2.7%
オ 女性の方が非常に優遇されている	2	0.7%
カ わからない	20	6.9%

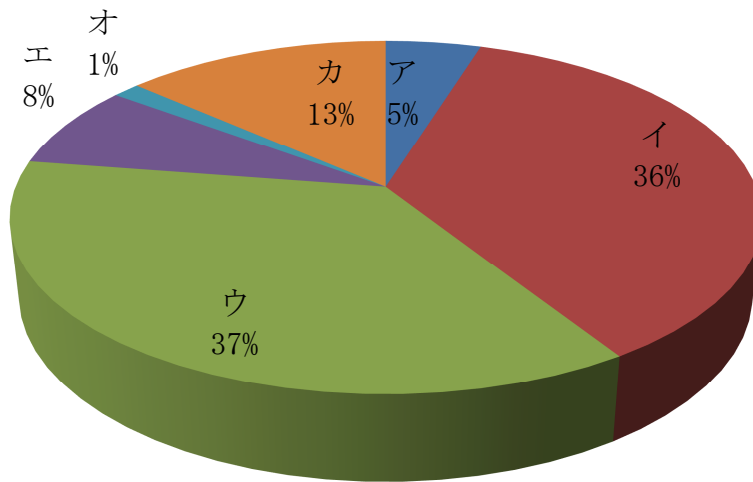
⑥社会通念・慣習・しきたりなど



- ア 男性の方が非常に優遇されている
- イ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ウ 平等
- エ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- オ 女性の方が非常に優遇されている
- カ わからない

⑦自治会やP T Aなど地域活動の場	人数	割合
ア 男性の方が非常に優遇されている	14	4.9%
イ どちらかといえば男性の方が優遇されている	104	36.1%
ウ 平等	105	36.5%
エ どちらかといえば女性の方が優遇されている	22	7.6%
オ 女性の方が非常に優遇されている	4	1.4%
カ わからない	39	13.5%

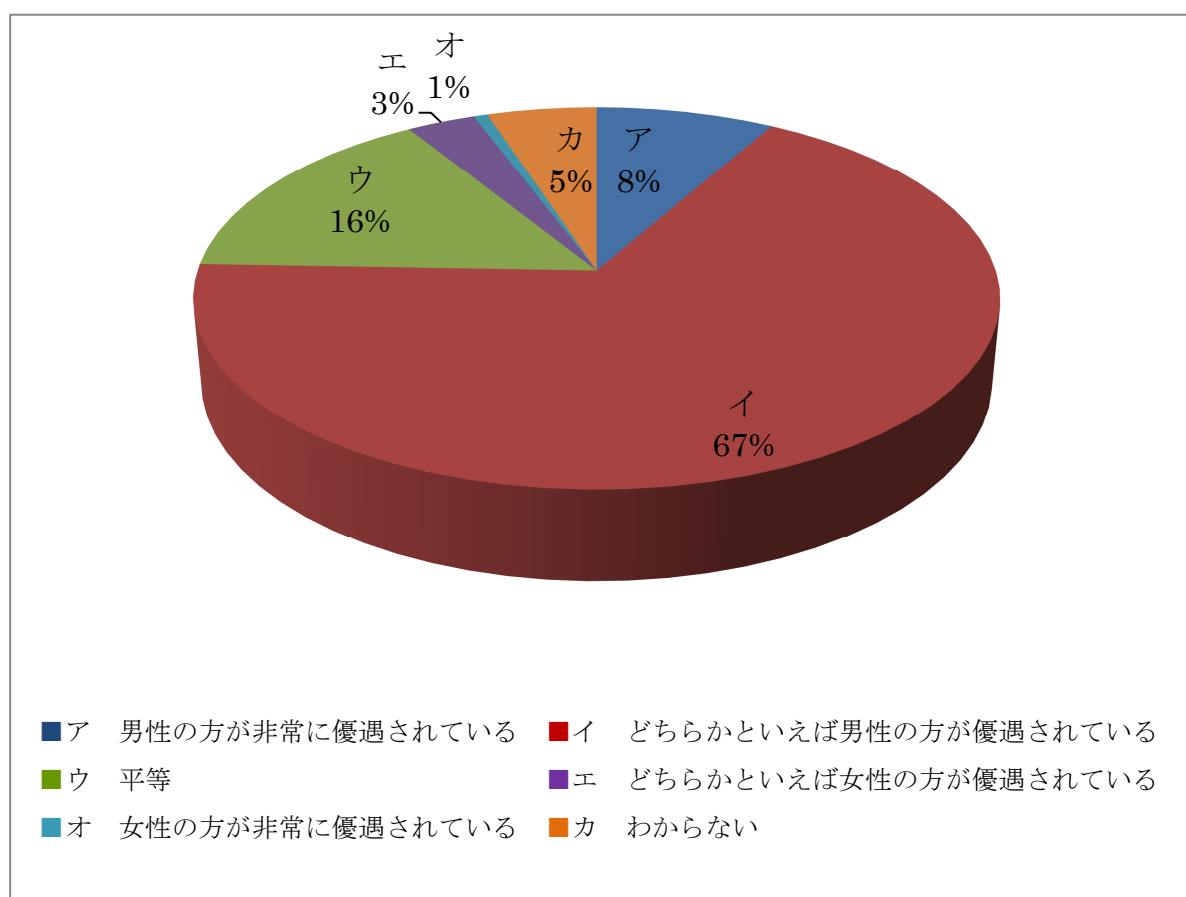
⑦自治会やP T Aなど地域活動の場



- ア 男性の方が非常に優遇されている
- イ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ウ 平等
- エ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- オ 女性の方が非常に優遇されている
- カ わからない

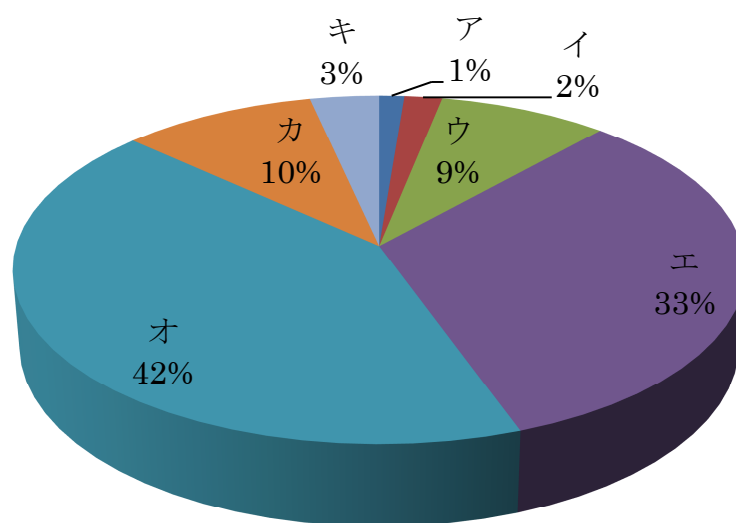
Q 2

Q 2 あなたは社会全体でみた場合には、男女の地位は平等になっていると思いますか。	人数	割合
ア 男性の方が非常に優遇されている	26	8.3%
イ どちらかといえば男性の方が優遇されている	212	67.3%
ウ 平等	49	15.6%
エ どちらかといえば女性の方が優遇されている	10	3.2%
オ 女性の方が非常に優遇されている	2	0.6%
カ わからない	16	5.1%



Q 3

Q 3 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどうお考えですか。	人数	割合
ア 女性は職業をもたない方がよい	4人	1.3%
イ 結婚するまでは職業をもつ方がよい	6人	1.9%
ウ 子供ができるまでは、職業をもつ方がよい	27人	8.5%
エ 子供ができて、ずっと職業を続ける方がよい	104人	32.8%
オ 子供ができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい	134人	42.3%
カ その他	31人	9.8%
キ わからない	11人	3.5%



- ア 女性は職業をもたない方がよい
- イ 結婚するまでは職業をもつ方がよい
- ウ 子供ができるまでは、職業をもつ方がよい
- エ 子供ができて、ずっと職業を続ける方がよい
- オ 子供ができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい
- カ その他
- キ わからない

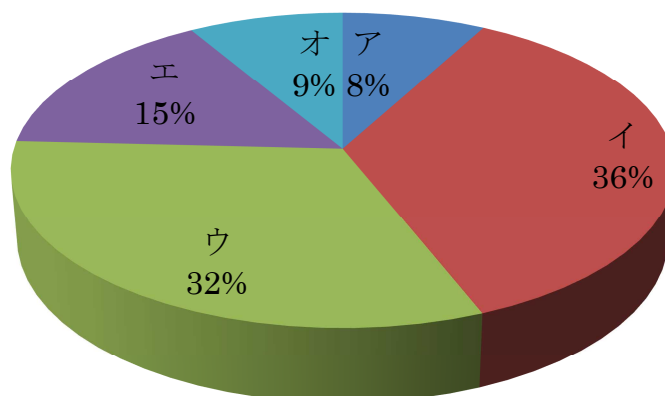
Q 4

Q 4 これらの言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものを全てあげてください。(複数回答可)	人数	割合
(ア) 男女共同参画社会	211 人	17.7%
(イ) 女子差別撤廃条約	69 人	5.8%
(ウ) ポジティブ・アクション (積極的改善措置)	39 人	3.3%
(エ) ジェンダー (社会的・文化的に形成された性別)	140 人	11.7%
(オ) 男女雇用機会均等法	259 人	21.7%
(カ) 女性活躍推進法	91 人	7.6%
(キ) 仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス)	117 人	9.8%
(ク) 配偶者などからの暴力 (DV)	252 人	21.1%
(ケ) 見たり聞いたりしたものはない	6 人	0.5%
(コ) わからない	8 人	0.7%

2. 家庭生活等に関する意識について

Q 5

Q 5 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたはどうお考えですか。	人数	割合
■ア 賛成	25	8.0%
■イ どちらかといえば賛成	113	36.0%
■ウ どちらかといえば反対	100	31.8%
■エ 反対	49	15.6%
■オ わからない	27	8.6%



- ア 賛成 →Q 6へ
- イ どちらかといえば賛成 →Q 6へ
- ウ どちらかといえば反対 →Q 7へ
- エ 反対 →Q 7へ
- オ わからない →Q 8へ

(Q5で「(ア) 賛成」、「(イ) どちらかといえば賛成」と答えた方に)

Q6それはなぜですか。(複数回答可)	人数	割合
(ア) 日本の伝統的な家族の在り方だと思うから	23人	8.8%
(イ) 自分の両親も役割分担をしていたから	20人	7.7%
(ウ) 夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから	44人	16.9%
(エ) 妻が家庭を守った方が、子供の成長などにとって良いと思うから	87人	33.3%
(オ) 家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思うから	77人	29.5%
(カ) その他	7人	2.7%
(キ) 特にない	0	0.0%
(ク) わからない	3人	1.1%

Q5で「(ウ) どちらかといえば反対」、「(エ) 反対」と答えた方に)

Q7それはなぜですか。(複数回答可)	人数	割合
(ア) 男女平等に反すると思うから	71人	18.5%
(イ) 自分の両親も外で働いていたから	26人	6.8%
(ウ) 夫も妻も働いた方が、多くの収入が得られると思うから	69人	18.0%
(エ) 妻が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから	62人	16.1%
(オ) 家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは可能だと思うから	38人	9.9%
(カ) 固定的な夫と妻の役割分担の意識を押しつけるべきではないから	106人	27.6%
(キ) その他	5人	1.3%
(ク) 特にない	5人	1.3%
(ケ) わからない	2人	0.5%

Q 8

Q 8 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためにはどのようなことが必要だと思いますか。(複数回答可)	人数	割合
(ア) 男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと	194 人	15.5%
(イ) 男性が家事・育児などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	83 人	6.6%
(ウ) 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること	204 人	16.3%
(エ) 年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること	136 人	10.8%
(オ) 社会の中で、男性による家事・育児などについても、その評価を高めること	154 人	12.3%
(カ) 男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること	192 人	15.3%
(キ) 労働時間短縮や休暇制度、テレワークなどの I C T を利用した多様な働き方を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること	116 人	9.2%
(ク) 男性の家事・育児などについて、啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能の研修を行うこと	85 人	6.8%
(ケ) 男性が家事・育児などを行うための、仲間（ネットワーク）作りをすすめること	76 人	6.1%
(コ) その他	9 人	0.7%
(サ) 特に必要なことはない	6 人	0.5%

3. 男女共同参画社会に関する行政への要望について

Q9 「男女共同参画社会」を実現するために、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(複数回答可)	人数	割合
(ア) 法律や制度の面で見直しを行う	124人	8.1%
(イ) 国・地方公共団体の審議会委員や管理職など、政策決定の場に女性を積極的に登用する	142人	9.2%
(ウ) 民間企業・団体などの管理職に女性の登用が進むよう支援する	138人	9.0%
(エ) 女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場を提供する	70人	4.6%
(オ) 従来、女性が少なかった分野（研究者など）への女性の進出を支援する	105人	6.8%
(カ) 保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する	210人	13.7%
(キ) 男女の平等と相互の理解や協力について学習機会を充実する	56人	3.6%
(ク) 労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女共に働き方の見直しを進める	152人	9.9%
(ケ) 子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する	195人	12.7%
(コ) 子育てや介護などでいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する	191人	12.4%
(サ) 男女の平等と相互の理解や協力について広報・PRする	67人	4.4%
(シ) 女性に対する暴力を根絶するための取組を進める	74人	4.8%
(ス) その他	0人	0.0%
(セ) 特にない	3人	0.2%
(ソ) わからない	9人	0.6%

Q10 あなたは、自治会長やPTA会長など、女性が地域活動のリーダーになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(複数回答可)	人数	割合
(ア) 女性が地域活動のリーダーになることに対する女性自身の抵抗感をなくすこと	161人	23.5%
(イ) 女性が地域活動のリーダーになることに対する男性の抵抗感をなくすこと	193人	28.2%
(ウ) 社会の中で、女性が地域活動のリーダーになることについて、その評価を高めること	131人	19.2%
(エ) 女性が地域活動のリーダーになることについて、啓発や情報提供・研修を行うこと	80人	11.7%
(オ) 女性が地域活動のリーダーに一定の割合でなるような取組を進めること	65人	9.5%
(カ) その他	11人	1.6%
(キ) 特にない	16人	2.3%
(ク) わからない	27人	3.9%